

最終評価シート

- 新規：H27年度から新規協定を結んだ指定管理者
 ■継続：前回指定期間から継続して管理している指定管理者

公園名	指定管理者	
東高根森林公園	東高根森林公園パートナーズ（継続） 【横浜緑地(株)・(株)三宝緑地】	
最終評価	評価対象年度	指定期間
一部良好でない	平成28年度	2年目(5年間) 【通算11年目】

■項目別の評価結果

1. 適切な管理運営業務の執行	3. 事業効果
B ・植物管理、清掃、環境への配慮、利用者への対応、サービス向上、安全管理については事業計画に沿って管理運営が行われていた。 ・ただし、施設管理では、施設構造に起因する利用者の転倒事故が発生し、再発防止対策が不十分と見られる点があった。	A ・アンケート結果によると、植物管理、清潔さ、接客及び安全・安心、全体の満足度は「高い」という評価になっている。 ・自由意見では、「広くて高低差があり歩くのが楽しい」、「各種イベントがあって参加したい」などの意見があった。
	・平成28年度の公園利用者数は、5年目の年間目標値350千人に対して366千人であった。
2. 業務執行体制	4. 個別項目
C ・事業計画に沿った職員配置、本部との連携、人材育成など適切な運営体制が確保されていた。 ・個人情報保護が適正に順守されていた。 ・事業計画に沿って、ボランティア団体・地元自治体等と連携して、観察会やイベント、広場の芝刈などの維持管理を実施していた。 ・地元企業のCSR活動について連携を行っていた。 ・ただし、法令順守では、条例に基づく県の許可が必要となる公園内の寄付金を求める行為について、許可を得ずに行い、県から業務執行の適正化の指導を受けた。（平成29年度）	A ・「歴史・文化・自然等を教材として活用した学習の機会創出」、「地域交流、多世代間交流の拠点づくり」、「多自然化・生物多様性に寄与する維持管理」については、事業計画に沿って管理運営が行われていた。
	5. 提案の履行
	A ・指定期間の2年目として、提案どおり取り組まれていた。

■特記事項

管理状況が良く今後も継続が望まれる点	今後取り組むべき点や改善が望まれる点
・ボランティアと協働で、生物調査及び竹・笹・棕櫚やザリガニの駆除の成果を上げており、多自然護岸整備や蝶のサンクチャリ計画も続けている。これらの成果や今後の目標などを利用者に伝える取り組みも含めて、今後も継続が望まれる。 ・公園及び周辺の歴史や自然を、楽しみながら学習していくイベントを多数実施している。小学生からお年寄りまで参加しており、地域交流・世代間交流にもなっていることから、今後も継続が望まれる。 ・福祉施設等と連携して認知症の予防やサポートの講座を開く取り組みは、今後も継続が望まれる。	・法令順守を研修等によって職員に徹底させることが望まれる。 ・転倒等が起こりやすい施設では、事故を未然に防ぐ取り組みを速やかに実施することが望まれる。

< 最終評価の基準 >

- 「特に優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、特に優秀な実績・成果をおさめている。[Sが3つ以上、B、Cがない]
 「優良」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、優秀な実績・成果をおさめている。[B、Cがない]
 「良好」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に適合している。[Cがなく、「特に優良」「優良」以外]
 「一部良好でない」 県が求めている管理運営業務の執行状況・執行体制・事業効果に対し、一部において適合していない。[Cが1つ以上ある]